

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	都市計画課	職	課長	氏名	宮田 正弘
評価者	組織	都市計画課	職	課長	氏名	宮田 正弘

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	1 景観形成のための協定を締結した地区数	地区	100 (H27)	100 (H23)	114 (H24)	A
		2 景観形成重要地域の指定箇所数	地区	11 (H27)	11 (H23)	11 (H24)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)	(年度)						
施策1	課題1	地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成	1 景観形成のための協定を締結した地区数	地区	100 (H27)	100 (H23)	114 (H24)	1 景観形成推進費	全県民	16,071	14,400	A	継続
			2 景観形成重要地域の指定箇所数	地区	11 (H27)	11 (H23)	11 (H24)	2 美しい石川の景観づくり推進費	全県民	9,829	9,387	A	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 景観形成推進費	事業開始年度: H19	事業終了予定年度:
	根拠法令	景観法、いしかわ景観総合条例
	・計画等	

作組	織	都市計画課 景観形成推進室
成職	・氏名	課長補佐 黒田 英之
者電	話番号	076 - 225 - 1759 内線 5221

事業の背景・目的
 石川県には、霊峰白山、美しい能登、加賀の海岸などの自然景観、歴史的・伝統的な町並みの景観など、様々な景観がある。この魅力ある景観を、県民が誇れる財産として守り、受け継ぎ、また一方で、新たな景観を作り、石川県の魅力を更に高める取り組みを進めていくため、全国で初めて景観と広告物の条例を一本化した「いしかわ景観総合条例」に基づき、総合的かつ強力で景観施策の展開を行う。

事業の概要

H20 **いしかわ景観総合条例の制定**

本県独自の理念や施策を盛り込み、景観施策を総合的かつ強力で推進するための拠り所となる全国初の条例

1. 市町を超えた広域的な景観づくりを推進、地域特性に応じた規制・誘導
2. 眺望景観の保全
3. 屋外広告物施策との一体的な推進
4. 里山景観等の保全・再生
5. 新たな景観形成手法の導入
6. 官民協働の推進体制の充実

↓

H21～H22 条例施行から「実行」へ、着実な景観づくりを推進

↓

H23～ 景観づくりの更なる推進

H24

官民協働によるエコサイン設置
 … 11,271千円
 企業広告と観光案内板とを一体とした集合広告看板(エコサイン)を官民協働で設置・管理・運営する。

住民主体の取り組み支援
 … 4,800千円
 地域特性を生かした景観形成に取り組む地域を積極的に支援し、官民協働での取り組みを推進する。

景観づくりセミナー等の開催
 … 4,829千円
 景観づくりを担う人材育成と県民意識啓発のため、景観教室の開催やアドバイザー派遣等を実施する。

能登の里山里海景観の保全
 … 5,000千円
 「世界農業遺産」認定を契機として、能登の里山里海の優れた景観を保全する取り組みを推進する。

これまでの見直し状況 特になし。

施策・課題の状況							
施策	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	評価	A				
課題	地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成						
	指標	景観形成のための協定を締結した地区数	単位	地区			
	目標値	現状値					
		平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
		100	71	73	76	100	114
	指標	景観形成重要地域の指定箇所数					
	目標値	現状値					
		平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
		11	10	10	10	11	11

事業費						
(単位: 千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	4,700	16,500	17,171	17,471	16,071
	決算	4,521	15,737	15,252	16,218	14,400
一般	予算	4,700	10,000	6,671	5,971	4,971
財源	決算	4,521	11,050	4,752	4,718	3,100
事業費累計		12,684	28,421	43,673	59,891	74,291

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	景観形成の重要な要素である屋外広告物について、集合広告看板(エコサイン)を設置することにより、良好な景観づくりの推進に寄与した。 また、住民が協定等を締結し、地域住民が主体となって景観形成に関する活動に取り組むなど、景観づくりに対する県民の意識は高まってきている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県土の良好な景観づくりを推進するため、住民による景観形成のための協定の締結や、景観総合条例の施行に伴う屋外広告物規制の強化(広告物禁止地域の拡充等)、集合広告板の官民協働での設置・管理・運営などを、今後も継続して取り組んでいくこととする。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 美しい石川の景観づくり推進費	事業開始年度: H19	事業終了予定年度:
	根拠法令	景観法、いしかわ景観総合条例
	・計画等	

作組	織	都市計画課 景観形成推進室
成職	氏名	課長補佐 黒田 英之
者電	話番号	076 - 225 - 1759 内線 5221

事業の背景・目的
 石川県には、霊峰白山、美しい能登、加賀の海岸などの自然景観、歴史的・伝統的な町並みの景観など、様々な景観がある。この魅力ある景観を、県民が誇れる財産として守り、受け継ぎ、また一方で、新たな景観を作り、石川県の魅力を更に高める取り組みを進めていくため、全国で初めて景観と広告物の条例を一本化した「いしかわ景観総合条例」に基づき、総合的かつ強力に景観施策の展開を行う。

事業の概要

H20

いしかわ景観総合条例の制定

本県独自の理念や施策を盛り込み、景観施策を総合的かつ強力に推進するための拠り所となる全国初の条例

1. 市町を超えた広域的な景観づくりを推進、地域特性に応じた規制・誘導
2. 眺望景観の保全
3. 屋外広告物施策との一体的な推進
4. 里山景観等の保全・再生
5. 新たな景観形成手法の導入
6. 官民協働の推進体制の充実

H21～H22 条例施行から「実行」へ、着実な景観づくりを推進

H23～ 景観づくりの更なる推進

H24

官民協働によるエコサイン設置
… 11,271千円

企業広告と観光案内板とを一体とした集合広告看板(エコサイン)を官民協働で設置・管理・運営する。

住民主体の取り組み支援
… 4,800千円

地域特性を生かした景観形成に取り組む地域を積極的に支援し、官民協働での取り組みを推進する。

景観づくりセミナー等の開催
… 4,829千円

景観づくりを担う人材育成と県民意識啓発のため、景観教室の開催やアドバイザー派遣等を実施する。

能登の里山里海景観の保全
… 5,000千円

「世界農業遺産」認定を契機として、能登の里山里海の優れた景観を保全する取り組みを推進する。

これまでの見直し状況 特になし。

施策・課題の状況						
施策	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	評価	A			
課題	地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成					
指標	景観形成のための協定を締結した地区数		単位	地区		
目標値	現状値					
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	100	71	73	76	100	114
指標	景観形成重要地域の指定箇所数		単位	地区		
目標値	現状値					
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	11	10	10	10	11	11

事業費						
(単位: 千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	16,204	7,523	7,000	6,037	9,829
	決算	15,358	6,025	5,135	4,379	9,387
一般	予算	16,204	6,523	6,000	5,238	9,029
財源	決算	15,358	5,025	4,135	3,580	8,587
事業費累計		23,521	29,546	34,681	39,060	48,447

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	景観づくりセミナー等(景観教室)の開催により、身近にある景観のすばらしさについて再認識されるなど景観に対する意識を育むことに寄与した。 また、身近な地域の景観に対する評価が高く、大切にしたいという意見が寄せられている。 これらのことにより、景観づくりに対する県民の意識は高まってきている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	いしかわの魅力ある景観を保全・創出し、次世代に継承していくためには、景観に対する意識の醸成が必要であることから、引き続きいしかわ景観キッズプログラムとして、小学校高学年を対象とした体験型の景観教室(出前講座)を開催し、景観に対する意識の啓発に取り組む。 また、世界農業遺産の認定を契機に、優れた能登の里山里海景観を保全する取り組みを推進する。